様式4

令和8年10月30日

令和8年度　学校関係者評価及び改善策

（ 中間 ・ 最終 ）　市立広中央中学校区　校番　04　学校名　呉市立広小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	学校の実態や児童の課題を踏まえ，具体的で分かりやすい目標・指標が設定されており，適切である。児童の主体性の育成やいじめ撲滅に向けた取組を重視している点も評価できる。
目標達成のための方策の適切さ	A	児童が主体的に考える授業づくりやタブレットの活用，ベルスタートや靴チェックなど，具体的な方策が講じられており，適切である。児童一人一人を大切にした指導や教職員の工夫も評価できる。
自己評価の結果の分析の適切さ	B	成果と課題を踏まえた分析がなされており，おおむね適切である。一方，長時間勤務の縮減については，学校現場の実情や背景も踏まえる必要があり，改善が難しい面もある。今後は，教職員の働き方を多面的に捉えながら，実現可能な改善策を検討していくことが望まれる。
今後の改善策（案）の適切さ	A	学校の実態や課題を踏まえた改善策が示されており，適切である。特に，児童の主体性を育む取組やいじめ撲滅に向けた活動の継続・充実が期待される。また，教職員の負担軽減に向けた具体的な取組を進めることが望まれる。
その他	児童が落ち着いて学習に取り組む姿や丁寧な挨拶，整理整頓の習慣化に向けた取組は評価できる。一方，児童一人一人に応じた支援体制の充実や教職員間の連携，施設の老朽化や大雨時の登下校の安全確保について，継続的な対応が必要である。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	児童の主体性を育む授業改善や，いじめ撲滅に向けた取組を継続・充実させるとともに，ベルスタートや靴チェックなどを通して，基本的な生活習慣の定着を図る。また，いじめ撲滅標語を全校に広め，児童が互いを大切にする意識を高めていく。 児童一人一人に応じた支援や教職員間の情報共有を充実させるとともに，施設・設備や通学路の安全点検を継続し，危険箇所への早期対応に努める。 さらに，業務の効率化を進め，教職員が児童と向き合う時間を確保するとともに，充実感をもって働くことができる環境づくりを推進する。また，長時間勤務の縮減に向けた取組と併せて，定時退校を意識した声掛けや，退校後の時間（アフターファイブ）を楽しく充実させるような声掛け・雰囲気づくりも大切にし，教職員が心身ともにゆとりをもって働ける職場づくりを目指す。